

Crossroads



《公立高校一般受検に向けて》

公立高校推薦入試の結果が出ました。それに伴い、一般入試における実質的な定員も決まりました。20日（土）の新聞に掲載されていますので、確認してみましょう。



※昨年度の受検生の一般入試体験報告を一部紹介します。

○入試問題について

- ・過去問では点が取れていた教科が本番では悪かった。
- ・Bグループは例年より難しかったです。国語の漢字が新研究にもっていない漢字だったり、理科はひっかけ問題が多かったです。Aグループは簡単だったみたいですが、傾向が変わったようです。

○面接試験について

- ・私以外全員違う中学校だった。志望動機は聞かれず、高校のイメージを聞かれた。将来の夢や高校に入ったらやりたいこと、中学の思い出も聞かれた。
- ・5人1組で、1組5問ずつくらい。答える順番は毎回かわる。面接官は3人。他の部屋では「中学校の思い出をどれくらいの大さきの、どんな形の、どんな感じの宝箱に入れましたか？」という質問もあったらしい。
- ・雰囲気は少しかたい感じで、最初のうちは緊張した。志望理由・長所と短所・高校でやりたいこと・高校で入りたい部活・高校卒業後の進路・最近気になったニュースを聞かれた。
- ・面接官3人に対して受検生5人で行われ、面接自体は10分くらいで終わった。質問内容はグループごとに違うようですが、僕のいたグループは簡単な質問だった。

○感想・印象に残っていること

- ・1校チャレンジ校だったので、受けるか受けないかというので結構迷った。ぎりぎりまで考え、チャレンジ校と押さえという感じで2校受けた。チャレンジして良かったと思っている。
- ・面接が終わってから合格発表までの間は、やはりどこか落ち着かなかった。テストも面接もそこそこできたので、自分が不合格だなんて一切考えなかったが、合格発表の日はさすがに緊張した。